

## 第 6 章 まちづくりの取り組み(アクションプラン)

---

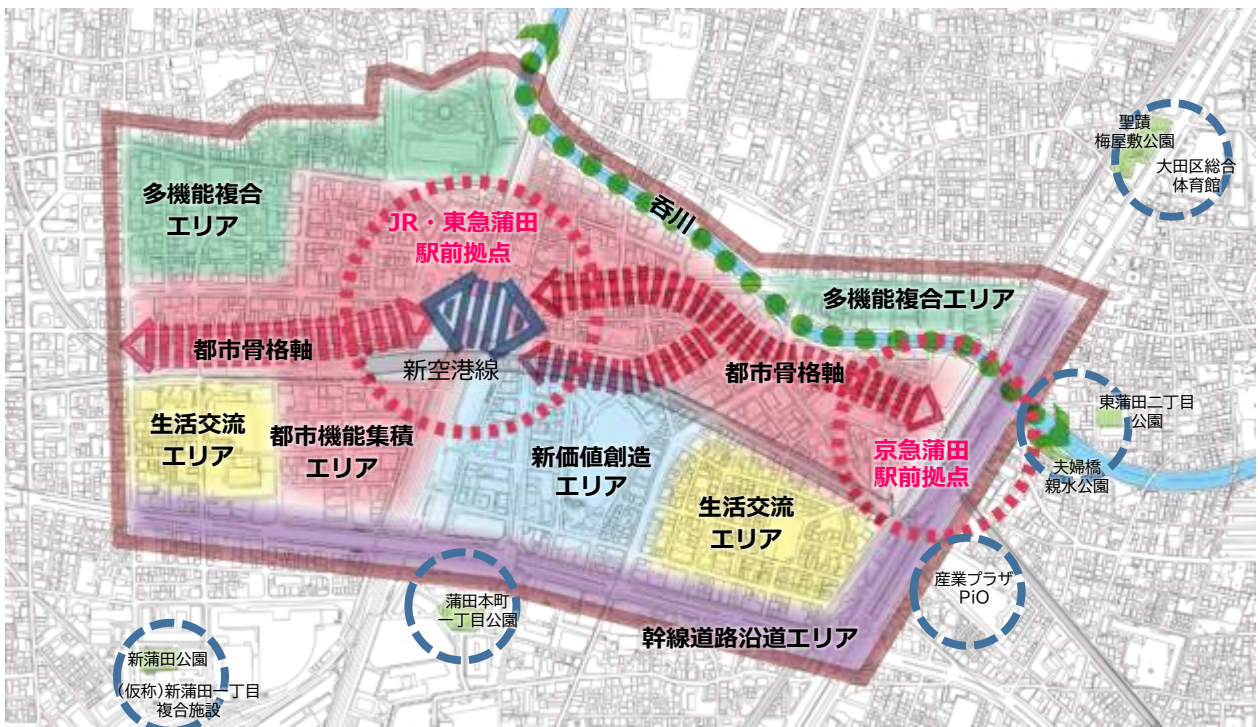
# ACTION PLAN

## 6-1. 地域の特徴を踏まえたエリアの区分

第2章で整理した「まちの特徴と課題」の通り、ランドデザイン対象区域内でも様々な特徴があることから、本区域内を更に細かく5つのエリアに区分し、各エリアの特徴を活かした取組（アクション）を、メリハリを付けて進めることが重要です。

エリアに明確な境界はなく、隣り合うエリアと相互に融合しています。境界付近では隣接するエリアに配慮したアクションを行っていくことも必要です。

### (エリアの区分)



#### 1) 都市機能集積エリア

歩きやすく居心地の良いまちなかに、人々を惹きつける店など都市機能が集約し、にぎわいあふれるエリア

#### 2) 新価値創造エリア

安全で快適な空間に、ビジネス・文化などの機能が集約し、創造的な活動や交流を活性化させるエリア

#### 3) 多機能複合エリア

散策を楽しめる呑川や、店舗、ホテル、住宅などが集約し、周辺住宅地と本地区をつなぎ、地域に根差したエリア

#### 4) 生活交流エリア

学びや交流の場となる学校や公園などを中心として地域への愛着や親しみを育むエリア

#### 5) 幹線道路沿道エリア

広域的な移動や災害時の活動を支える幹線道路の沿道に、街路樹や災害に強い建物が立ち並ぶ安全で快適なエリア

#### (仮)周辺施設

ランドデザイン対象範囲に近接した地域に立地する施設であり、対象範囲内に誘導する機能との連携・相乗効果により、蒲田の活性化、利便性向上、防災性向上が期待できることから、連携のあり方等を検討していく。検討の深度化に応じて、必要な取組や地区計画などの制度を活用し、効果的・効率的な土地利用を促進し、本地区内との更なる連携強化を図る。

## 6-2. エリア・拠点・軸別のまちづくり

これまでに示した、基本方針・分野別方針を踏まえ、2つの駅前拠点とまちを繋ぐ都市骨格軸、5つのエリアの役割や特徴に応じたアクションを横断的に行うことにより、まち全体が活気とにぎわいあふれ、持続的に価値を高め発展させていくことを目指します。

### コラム column

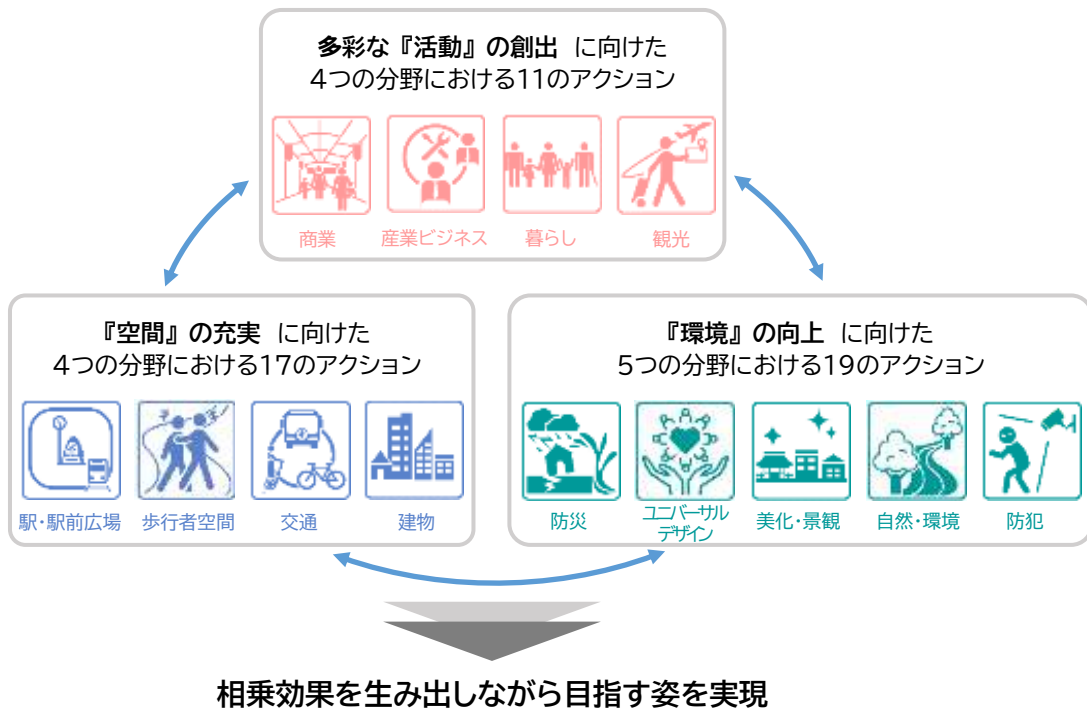
#### 横断的取組(横串展開)による相乗効果の創出

個別の取組による効果を更に高めるためには、「活動」「空間」「環境」に渡る複数の取組を横断的・総合的に行うことが有効です。

また、敷地や主体を越えた取組も重要となります(例えば、商店街の活性化においては、店主・地権者・道路管理者の連携が重要です)。

蒲田のまちづくりを進める上では、13の分野を横断したアクションの展開(横串展開)により、異なる分野の取組の相乗効果を生み出しながら目指す姿を実現していきます。

#### 13の分野を横断した取組を展開(横串展開)





## エリア 01. 都市機能集積エリア

(エリアの目指す姿)

歩きやすく居心地の良いまちなかに、  
人々を惹きつける店など都市機能が集約し、

**にぎわいあふれるエリア**

(将来イメージ)





1. グランドデザインの改定にあたって

2. 蒲田駅周辺地区の強み・弱み

3. 蒲田に求められる役割

4. まちの将来像

5. まちづくりの基本方針

6. まちづくりの取り組み (アクションプラン)

7. グランドデザインの実現に向けて

(エリアの目指す姿を実現するために、重点的に取り組むアクションプラン)

<重点  
多く  
複合

○ 個  
し  
→  
→  
○

基本方針1: 活動(機能誘導)

基本方針2: 空間(ネットワーク)

歩  
進  
等

### <重点アクションプラン>

重点的に取り組むアクションの組み合わせにより、  
目指す姿の実現に向けた取組計画(アクションプラン)を示す

【関連 AP: 3-①、4-①】

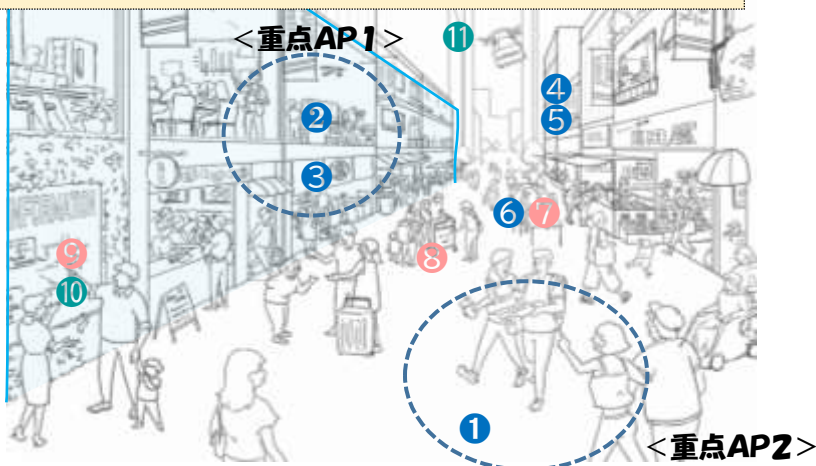
→災害時等において、円滑な避難や救急対応が

行える細粒路の解消

8-②、9-①・②・③】

### <イラストの解説>

イラストの中で、取組がどのようになされているか説明



～ 将来イメージにおける(アクション)の解説～

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 居心地良く留まり、快適な回遊を支えるゆとりある歩行者空間</li> <li>② 1階に商業、上階にビジネス・住宅等、にぎわいが連続する複合市街地</li> <li>③ 日常生活に必要なものを扱う店舗等、まちの人々の暮らしを支える施設を集積</li> <li>④ 老朽建物の更新</li> <li>⑤ 駐車場の隔地による連続したまちなみ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥ 人々が活用するオープンスペースの設置</li> <li>⑦ まちの公共的空間(オープンスペース等)を利用したイベントの実施</li> <li>⑧ 観光案内もできるガイドロボット</li> <li>⑨ まちの魅力を伝える案内板</li> <li>⑩ 案内板のLED化(省エネ設備の導入)</li> <li>⑪ 先端技術(ドローン等)を活用した、コードレスエレベーター</li> </ul> |
|---|--|

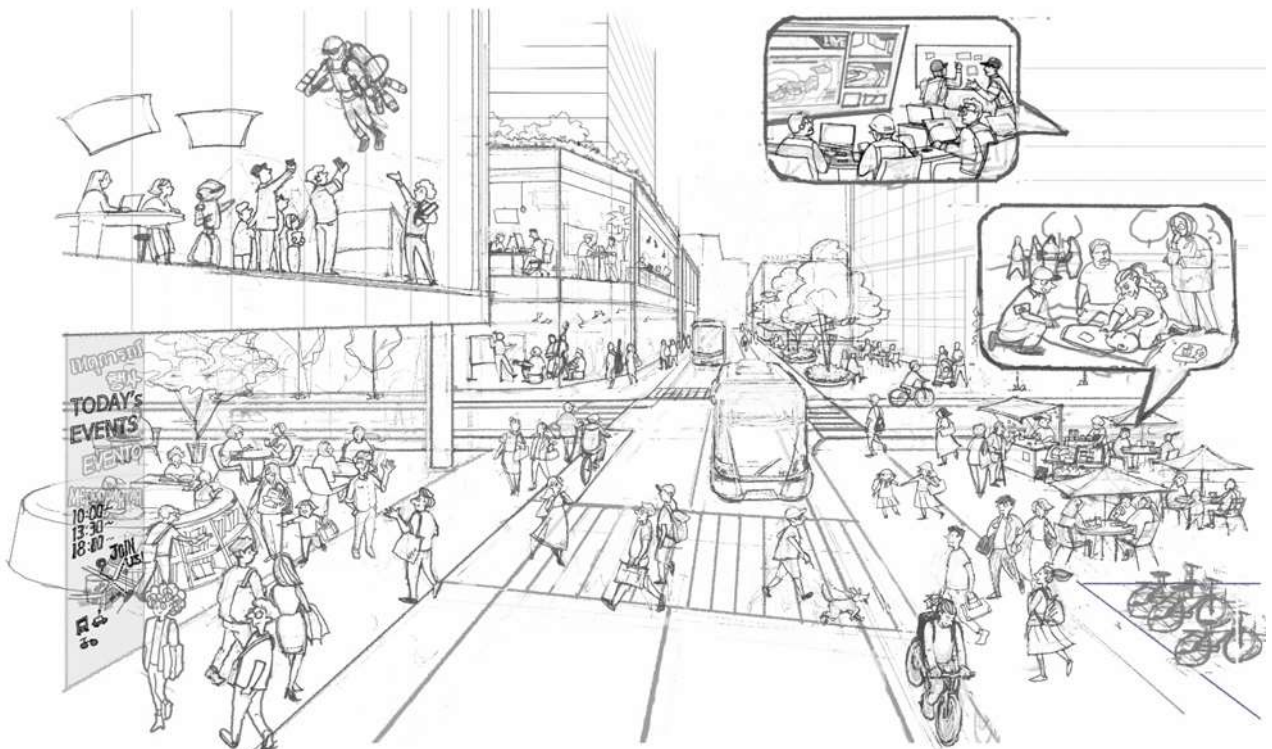


## エリア 02. 新価値創造エリア

(エリアの目指す姿)

安全で快適な空間に、  
ビジネス・文化などの機能が集約し、  
創造的な活動や交流を活性化させるエリア

将来イメージ





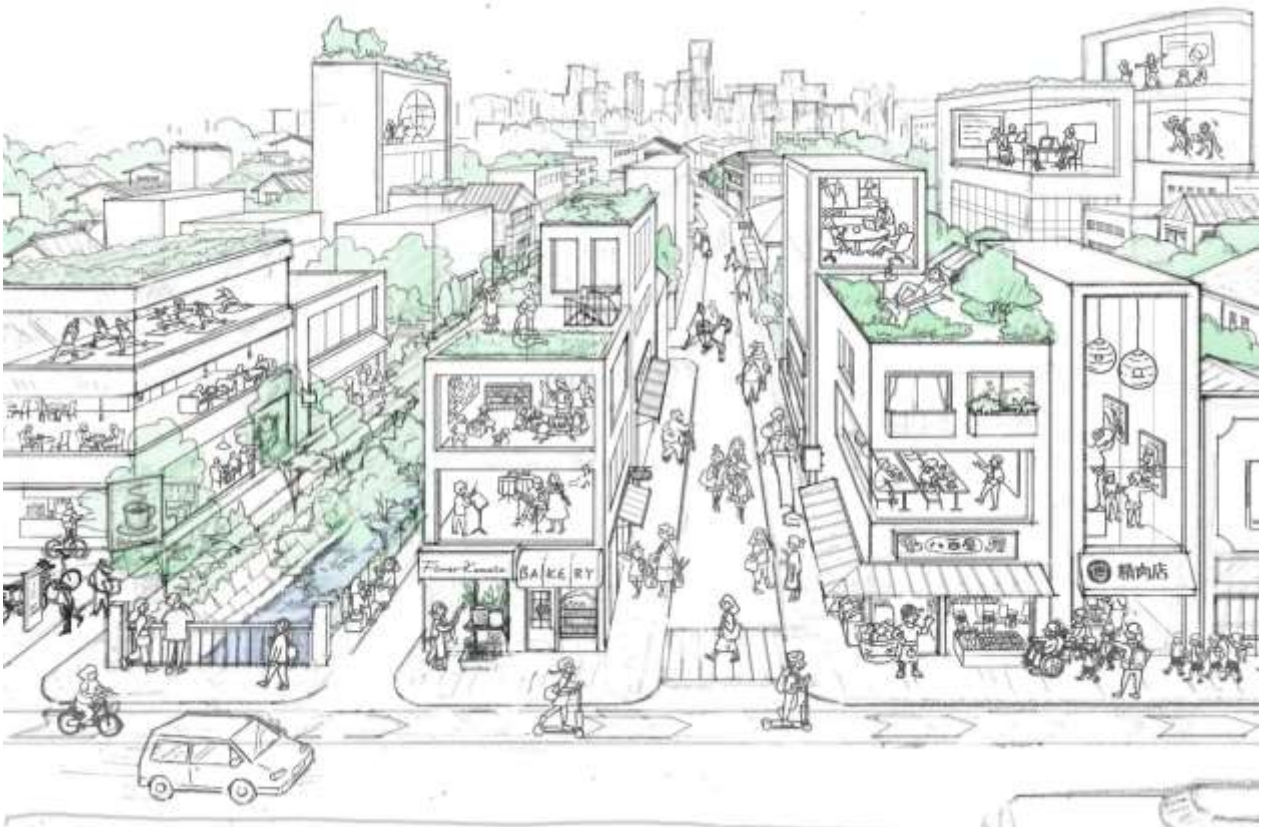
## エリア 03. 多機能複合エリア

(エリアの目指す姿)

散策を楽しめる呑川沿いや、  
店舗、ホテル、住宅などが集約し、周辺住宅地と本地区をつなぎ、

**地域に根差したエリア**

将来イメージ



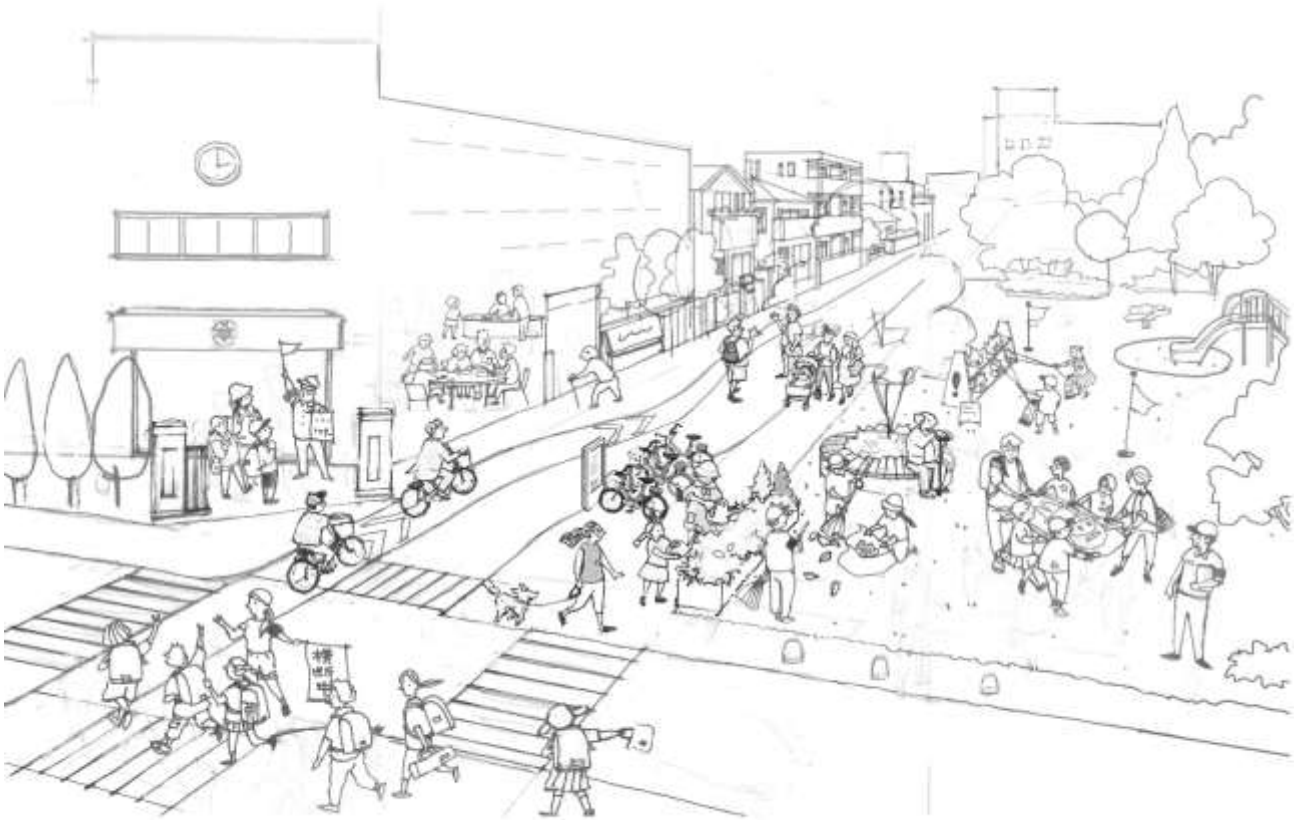


## エリア 04. 生活交流エリア

(エリアの目指す姿)

学びや交流の場となる学校や公園などを中心として  
**地域への愛着や親しみを育むエリア**

将来イメージ







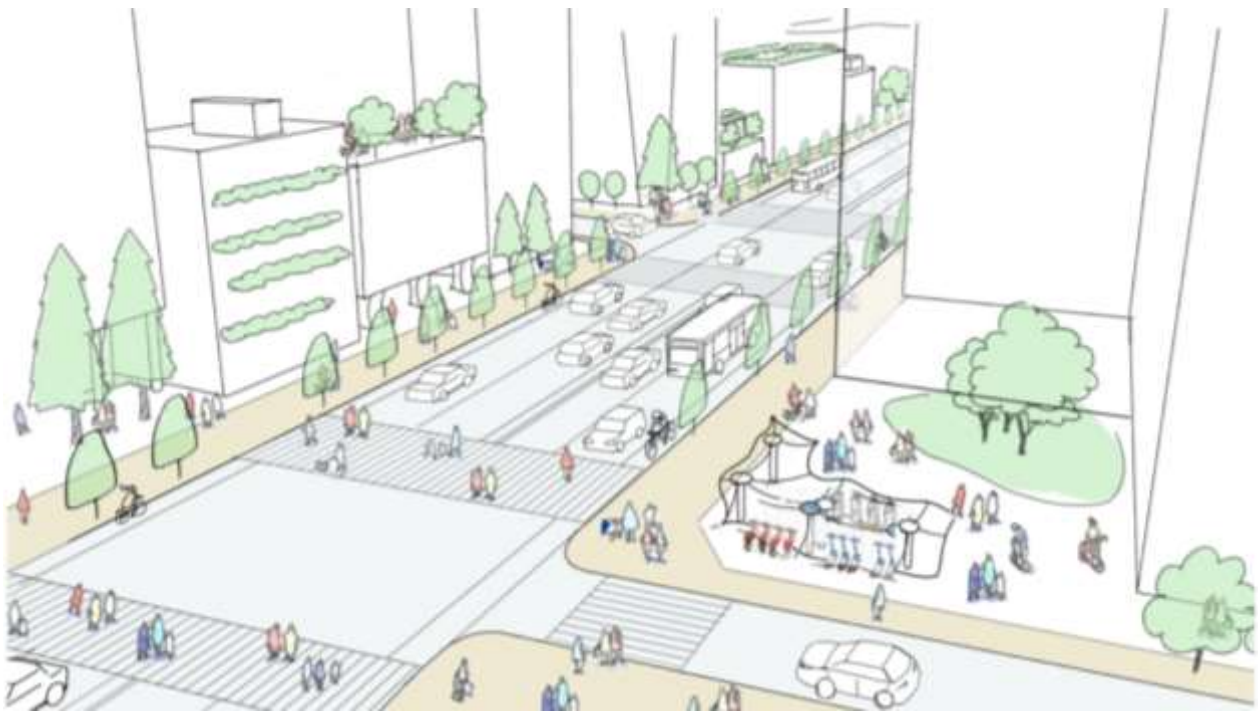
## エリア 05. 幹線道路沿道エリア

(エリアの目指す姿)

広域的な移動を支える幹線道路の沿道に、  
街路樹や災害に強い建物が立ち並ぶ

**安全で快適なエリア**

将来イメージ





## 拠点01. JR・東急蒲田駅前拠点

(拠点の目指す姿)

駅を中心として多様な公共交通や都市機能が集まり、  
駅とまちが繋がることで、

**蒲田のまちに活力をもたらす駅前拠点**

将来イメージ





## 拠点 02. 京急蒲田駅前拠点

(拠点の目指す姿)

駅を中心として多様な公共交通や都市機能が集まり、  
駅とまちが繋がることで、

**蒲田のまちに活力をもたらす駅前拠点**

将来イメージ



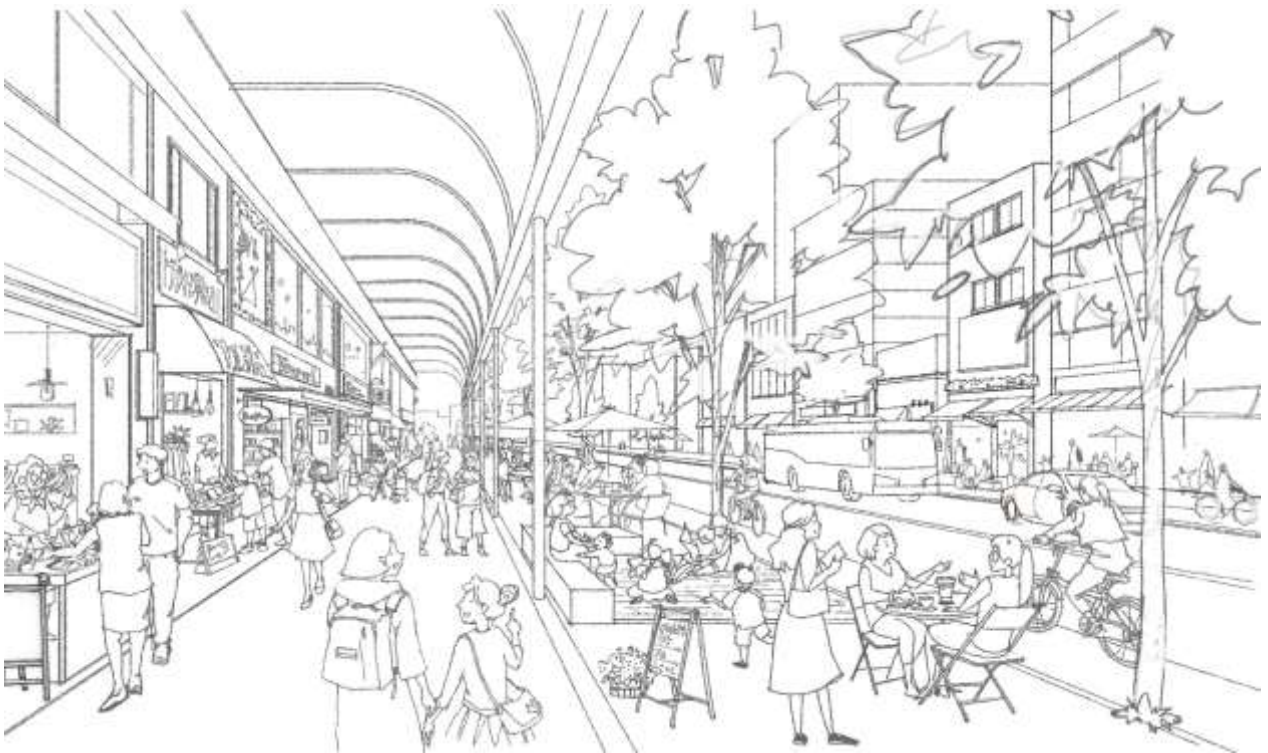


## 軸 01. 都市骨格軸

(軸の目指す姿)

歩行者のための滞留空間拡充やイベントによる賑わい創出で  
新たな魅力を高める、歩いて楽しい歩行者空間の形成

将来イメージ



### 6-3. アクションプランの実施場所・実施手順・実施主体

まちの将来像の実現に向けて、各基本方針及び分野別方針に応じたまちづくりを進めていくため、以下の取組（アクション）を行っていきます。これまでに示した、エリアごとの特性や拠点・軸が担うべき役割等を考慮しながら、重点的に取り組んでいくアクションや、それらアクションを多様な主体が協働し、20年先を見据え、優先順位を決めながら計画的に実行することが重要です。

そこで、各取組（アクション）の実施場所、実施手順、実施主体を整理しました。今後、この3つの視点を意識しながら、行政をはじめ、地域住民、事業者が適切な役割分担をしながら、主体的かつ着実にまちづくりを推進していくことが期待されます。

基本方針	分野別方針	アクション	アクションの実施場所							アクションの実施手順			アクションの実施主体	
			エリア					拠点		軸	短期	中期		長期
			都市機能集積	新価値創造	多機能複合	生活交流	幹線道路沿道	JR東急蒲田	京急蒲田					
	No.													
基本方針1 【活動の創出】	1	① 多様なニーズに応える商業の集積と担い手支援	◎	○	○			◎	◎	◎	→	→	→	行政・事業者
		② 商業やまちの魅力を広げるイベント等の拡充	◎	○	○			◎	◎	◎	→	→	→	行政・事業者・区民等
	2	① 立地特性を活かした業務機能の誘導	○	◎	○			◎	◎	○	→	→	→	行政・事業者
		② 経済活動の活性化を図る産業支援の促進	○	◎	○			◎	◎		→	→	→	行政・事業者
		③ ビジネスパーソンが快適に働くことができる空間の構築	○	◎	◎			◎	◎		→	→	→	行政・事業者
	3	① 多様な人々の暮らしを支える施設・サービスの誘導	◎	○	○			◎	◎		→	→	→	行政・事業者・区民等
		② 地区への愛着を育む学びと交流施設の誘導	◎		○					○	→	→	→	行政・事業者
		③ 人々の支えあいを育む交流機会の充実と参加促進			○	◎				◎	→	→	→	行政・区民等
	4	① 来街者を引き付けるプロモーションの充実	◎	○				○	○	○	→	→	→	行政・区民等
		② 来街者を迎え入れる体制の充実	◎	○	○			◎	◎	○	→	→	→	行政・事業者・区民等
		③ 来街者の快適な滞在を支える施設の充実	○	○	◎			◎	◎	○	→	→	→	行政・事業者
	基本方針2 【都市空間の充実】	5	① 区内の円滑な移動と広域的な利便を生む新空港線整備の推進						◎	◎		→	→	→
② 駅東西の分断を解消し、鉄道の乗換えを円滑にする JR・東急蒲田駅東西自由通路の整備								◎			→	→	→	行政・事業者
③ まちの円滑な移動を支える JR・東急蒲田駅北側通路の整備								◎			→	→	→	行政・事業者
④ まちの顔となる駅・駅ビルの一体的な機能更新								◎			→	→	→	行政・事業者
⑤ 多様な移動手段や駅とまちをつなぐ駅前広場の機能向上								◎			→	→	→	行政・事業者
6	① 歩行者の円滑な移動と多様な活動を支えるストリートの創出	◎	◎				○	○	◎	→	→	→	行政・事業者	
	② 緑と潤いのある呑川沿いの散策路の整備									→	→	→	行政・事業者	
	③ 歩行者の安全とまちのにぎわいを創出する駐車場の適正化	◎	○				○	○	◎	→	→	→	行政・事業者	
7	① 地域住民の移動を支え利便性の高い自転車駐車場の整備	○	○				◎	◎		→	→	→	行政・事業者	
	② 自転車や歩行者等が安全に移動できる自転車走行環境の整備	○	○		○					→	→	→	行政	
	③ 自由な移動を支える先端技術と交通モードの活用	○	○			○	◎	◎	○	→	→	→	行政・事業者	
8	① 沿道のにぎわいが連続する複合市街地の形成	◎	○	○			○	○	◎	→	→	→	行政・事業者・区民等	
	② まちの更新を図る老朽建物の建替えと公共施設や街区の再編	◎	◎				◎	◎	○	→	→	→	行政・事業者	
	③ 人々が留まり、にぎわいを生むオープンスペースの拡充	◎	◎				○	○	◎	→	→	→	行政・事業者	
基本方針3 【環境の向上】	9	① 災害時にも都市活動が継続する強靱性の高い拠点の形成	○	◎	○	○	○	◎	◎	○	→	→	→	行政・事業者
		② 首都直下地震等への対策の推進	○	○	○	○	◎	○	○	○	→	→	→	行政・事業者・区民等
		③ 台風・豪雨による都市型水害対策の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	→	→	→	行政・事業者・区民等
		④ 帰宅困難者等を受け入れる施設や体制の確保	○	◎				◎	◎	○	→	→	→	行政・事業者・区民等
		⑤ 災害に備えた自助・共助の体制づくり			○	◎					→	→	→	行政・事業者・区民等
10	① 誰も迷わない分かりやすいサインの整備	○	○				◎	◎	◎	→	→	→	行政・事業者	
	② 誰もがすいすい移動できるバリアフリー化の推進	○	○	○			◎	◎	◎	→	→	→	行政・事業者	
	③ 人々の多様性を認め受け入れるダイバーシティの推進			○	◎					→	→	→	行政・区民等	
	④ 先端技術を駆使した環境の整備	○	○				◎	◎	◎	→	→	→	行政・事業者	
11	① みんなで綺麗なまちをつくる美化活動	○	○		◎					→	→	→	行政・事業者・区民等	
	② 蒲田らしい固有の魅力を活かした景観の育成	○	△				△	△	△	→	→	→	行政・事業者・区民等	
	① 地域とつくる緑あふれる都市環境の創出	△	△		○		△	△	○	→	→	→	行政・事業者・区民等	
	② 緑とにぎわいを感じる公園等の充実	○			◎			○		→	→	→	行政・区民等	
	③ まち全体で取り組む環境負荷の低減	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○	→	→	→	行政・事業者・区民等	
12	④ 暑い日もまちなかで快適にすごせるための暑さ対策	○	○	○	○	○	○	○	○	→	→	→	行政・事業者	
	⑤ 潤いを創出する呑川の水質改善									→	→	→	行政	
	13	① 地域の力でつくる安全な環境の確保			○	◎					→	→	→	行政・事業者・区民等
		② 自転車マナーアップと放置自転車対策の推進	○	○	○	◎		○	○		→	→	→	行政・事業者・区民等

**アクションの実施場所**

**重点実施場所 (◎) :**  
当アクションが将来像実現のために特に重要であり、優先的に取り組むべき場所

**実施場所 (○) :**  
当アクションが将来像実現のために重要である場所

**アクションの実施手順**

**【実施 (→)】** 以下の目標時期に向けて、新たに実施する取組、及び実施に向けた検討・調整

**短期的取組(概ね5年):**  
地域が取り組むソフト施策や、行政主体で進められる整備事業など

**中期的取組(概ね10年):**  
行政主体で調整等が必要な整備事業や民間の建築物が関係する街区整備の推進など

**長期的取組(概ね20年):**  
駅を中心とする都市基盤整備など事業者が主体となる公共性の高い事業。様々な関係者が係わるため、行政が総合的な調整を行いながら進める

**【継続 (→)】** 既に取組を実施しており、今後も継続して取り組んでいく事業など

**アクションの実施主体**

**区民等** : 区民(住民)、蒲田で働く人、蒲田で学ぶ人、蒲田を訪れる人など

**事業者** : 地元企業、鉄道事業者、開発事業者、商店街など

**行政** : 大田区、東京都、国など

1. グランドデザインの改定にあたって

2. 蒲田駅周辺地区の強み・弱み

3. 蒲田に求められる役割

4. まちの将来像

5. まちづくりの基本方針

6. まちづくりの取り組み(アクションプラン)

7. グランドデザインの実現に向けて



## 6-4. 43の取組(アクション)の解説

13の分野別方針を実現するために、それぞれの行動計画を定め、43の取組を行っていきます。

### 分野別方針1:【商業】いきいき元気な商業のまち

#### ① 多様なニーズに応える商業の集積と担い手支援

多様なニーズに応じた商業の集積を図り商店街の連続性を確保するため、商業の担い手や開業希望者を育成・支援します。また、商店街を巡回訪問し、商店街を取り巻く実情や課題を聞き取る中で、空き店舗や担い手不足等の課題の解決に向けた取組提案を行います。

#### ② 商業やまちの魅力を広げるイベント等の拡充

蒲田に訪れる機会・機運を高め、にぎわいを創出するため、商店街が地域団体（自治会・町会等）と連携し、公共空間やオープンスペースを活用したイベントの開催や商店街・個店の魅力を発信する戦略的なPR活動を支援します。

### 分野別方針2:【産業・ビジネス】産業やビジネスが育つまち

#### ① 立地特性を活かした業務機能の誘導

交通結節性や羽田空港との隣接性を強みに、様々な人材（主体）を集め、経済活動が活性化するよう、企業やサテライトオフィスなど業務機能の誘導を図ります。また、HANEDA×PiO（HICity含む）との連携を検討します。

#### ② 経済活動の活性化を図る産業支援の促進

企業を支え、新たなビジネスや価値を生み出されるよう、シェアオフィス、インキュベーション施設やコワーキングスペース等を誘導、創業者や企業間交流の支援、中小規模MICEの開催を支援します。また、実証実験・ショーケースの場としてまちの活用を検討します。

#### ③ ビジネスパーソンが快適に働くことができる空間の充実

国内外のビジネスパーソンが蒲田で快適に働くことができるよう、中長期滞在機能をもった宿泊機能の誘導を図り、まちなかの小さなワーキングスペースなど空間資源の充実を検討します。

## 分野別方針 3:【暮らし】多様な人々が快適に暮らせるまち

### ① 多様な人々の暮らしを支える施設・サービスの誘導

蒲田に住む幅広い世代や外国人、合わせて蒲田で働く人にとっても、日常の暮らしを快適でより便利にするために、医療、教育、子育てなど生活支援機能を誘導します。おおた国際交流センターを国際交流活動並びに多文化共生推進の拠点とし、多言語相談窓口や外国人区民への日本語教育、多言語情報誌の発行など、外国人区民が安心して暮らせる支援を行い、多様な人々が暮らしやすいまちをつくります。

### ② 地区への愛着を育む学びと交流機能の誘導

様々な人々が集い、学び・交流が生まれ、それらを通じて、蒲田に対する愛着が育まれる学びや交流機能の充実を図ります。図書館機能、郷土学習機能、文化伝承機能などの誘導や、子供や若者が安全に活動できる多面的な機能を持った施設の誘導について検討します。また、現代アートやデジタルアートの展示などを通じて新たな文化発信を行います。

### ③ 人々の支えあいを育む交流機会の充実と参加促進

地域住民が互いを理解し、支えあいを育み、地域コミュニティの活性化に繋げるため、自治会等の地域イベントの開催、イベント等を通じた多文化交流の実施、外国人や若者が地域活動やサークルに参加しやすい仕組みづくりを検討します。

## 分野別方針 4:【観光】国内外と繋がり、何度も訪れたいくなるまち

### ① 来街者を引き付けるプロモーションの充実

国内外からの来街者を増やすため、観光資源やその魅力の情報発信などにより、シティプロモーションを推進します。

### ② 来街者を迎え入れる体制の充実

おもてなしの心をもって来訪者を迎え入れ、蒲田の魅力を伝える、観光に携わるガイド等の育成・活動支援、外国人来訪者の受入れや蒲田の魅力を発信する施設の充実を図ります。

### ③ 来街者の快適な滞在を支える施設の充実

来街者の快適な滞在を支え、ストレスなく観光を楽しめるよう、宿泊機能の誘導や羽田空港利用者向けサービスの充実を検討します。



## 分野別方針 5:【駅・駅前広場】ゆとりを感じる利便性の高い駅と基盤施設

### ① 区内の円滑な移動と広域的な利便を生む新空港線整備の推進

区内の円滑な移動はもとより東京圏の鉄道ネットワークを強化し、利便性の向上、通勤や通学における混雑緩和を図る新空港線の整備を推進します。

### ② 駅東西の分断を解消し、鉄道の乗換えを円滑にする JR・東急蒲田駅東西自由通路の整備

JR・東急蒲田駅東西の分断を解消し、連携を高めると共に、駅利用者の円滑な乗り換えを実現するため、ゆとりある幅員を持つバリアフリーな東西自由通路の整備を推進します。

### ③ まちの円滑な移動を支える JR・東急蒲田駅北側通路の整備

JR・東急蒲田駅東西の交通ネットワークを繋ぎ円滑な回遊を促すため、駅北側通路の整備に向け、関係者と検討を進めます。

### ④ まちの顔となる駅・駅ビルの一体的な機能更新

交通結節点である JR・東急蒲田駅・駅ビルの機能強化を図るため、各種制度を活用し、施設間の段差がなく、駅前広場等と一体となった、利便性の高い駅ビル等の整備に向け、関係者と検討を進めます。

### ⑤ 多様な移動手段や駅とまちをつなぐ駅前広場の機能向上

様々な交通手段の乗換えや、駅とまちをスムーズに繋ぎ、人々が集いにぎわう、オープンスペースを備えた JR・東急蒲田駅駅前広場の再編整備に向け、関係者と検討を進めます。

## 分野別方針 6:【歩行者空間】歩いてめぐり楽しめるまち

### ① 歩行者の円滑な移動と多様な活動を支えるストリートの創出

出会いと交流を生む基礎的な公共空間として、居心地が良く留まり、快適な回遊を支える、沿道敷地と連携したゆとりある歩行者空間の確保に向けて、街路空間を創出します。

### ② 緑と潤いのある呑川沿いの散策路整備

呑川の沿道を水と緑を楽しみながら散策できるよう、呑川緑道の整備に取り組みます。現在、蒲田駅周辺の呑川沿いに設置されている暫定自転車駐車場については、蒲田駅東口地下自転車駐車場を含めた今後の自転車駐車場整備に伴い、整理を進めます。

### ③ 歩行者の安全とまちのにぎわいを創出する駐車場の適正化

歩行者と車の交錯やまちなみの分断を防ぐため、実態を踏まえた駐車場の適正な台数や配置等のあり方、取組を検討します。

1. グランドデザインの  
改定にあたって

2. 蒲田駅周辺地区の  
強み・弱み

3. 蒲田に求められる役割

4. まちの将来像

5. まちづくりの基本方針

6. まちづくりの取り組み  
(アクションプラン)

7. グランドデザイン  
の実現に向けて

## 分野別方針7:【交通】様々な手段で快適に移動できるまち

### ① 地域住民の移動を支え利便性の高い自転車駐車場の整備

通勤・通学・買い物など幅広く利用されている自転車の利便性を高めるため、JR・東急蒲田駅東口地下自転車駐車場など大田区自転車等総合計画に基づき整備を進めると共に、民間施設に対する整備を促進します。

### ② 自転車や歩行者等が安全に移動できる自転車走行環境の整備

自転車を快適に利用できる環境を確保するため、大田区自転車ネットワーク整備実施計画に基づき、自転車ネットワーク路線の自転車走行空間の整備を進めます。

令和5年度で現行計画による整備完了を迎えるにあたり、今後は整備路線の精査、経年劣化に対する補修等の次期計画策定を目指します。

### ③ 自由な移動を支える先端技術と交通モードの活用

誰もが自由に継ぎ目なく移動できるよう、パーソナル・グリーンスローモビリティの活用や、多様な移動手段を跨いだ移動経路の検索や予約・決済を一括で行うサービス（MaaS）の活用等を技術の進展に応じて検討します。

## 分野別方針8:【建物】建物の更新や活用が進むまち

### ① 沿道のにぎわいが連続する複合市街地の形成

連続したにぎわいあるまちなみや複合市街地を維持するため、商業が集積するエリアは、低層階に商業や業務、中高層階に業務や住宅等を中心に置き込むよう、地区計画等を活用した誘導を図ります。

### ② まちの更新を図る老朽建物の建替えと公共施設や街区の再編

駅周辺において、土地の高度利用と市街地の更新を図るため、地区計画、都市開発諸制度等を活用し、建物の建替え、共同化を促進します。また、公共施設や街区の再編も含めた計画的で一体的な整備についても検討を進めます。

### ③ 人々が留まり、にぎわいを生むオープンスペースの拡充

快適な移動や滞在を支え、にぎわいの創出に資する空間を拡充するため、再開発や共同化等に際してオープンスペースを確保すると共に、歩行者空間と一体的な利活用（イベント等）等のマネジメントについて検討します。

## 分野別方針9:【防災】災害に強いまち

### ① 災害時にも都市活動が継続する強靱性の高い拠点の形成

災害時にも都市活動が継続する防災性の高い拠点を形成するため、災害に強いインフラ等の構築を関係機関と連携して進めると共に、再開発や共同化等に際して地域冷暖房施設の受入れやコージェネレーションシステムなど自立・分散型エネルギーの利用を促進します。また、事業者に対し、BCP（事業継続計画）作成に向けた啓発を進めます。

### ② 首都直下地震等への対策の推進

大地震による建築物等の倒壊から区民の生命・財産を守り、災害発生直後から緊急輸送を円滑に行うため、老朽化した建築物の耐震化を促進するとともに、橋梁耐震整備計画に基づき、橋梁の架替え・耐震補強整備を計画的に進めます。また、電柱の地中化による都市防災機能の強化、安全で円滑な歩行空間の確保や良好な都市景観の創出を図るため、大田区無電柱化推進計画に基づき無電柱化を推進します。

### ③ 台風・豪雨による都市型水害対策の推進

集中豪雨などによる都市型水害へ対応するため、防水板の設置や電気設備の上層階設置など水害時における建築物の自立性の確保を働きかけます。また、建築物の更新に併せて雨水流出抑制施設、雨水貯留施設の整備など、内水氾濫の防止を促進します。

### ④ 帰宅困難者等を受け入れる施設や体制の確保

帰宅困難者等の安全を確保するため、再開発や共同化等に際して一時滞在施設や物資の保管場所を確保します。また、蒲田駅周辺滞留者対策推進協議会などにおける取り組みの推進を通じて、企業、商店街、自治会・町会で連携し、滞留者の混乱防止や安全確保、被害の拡大防止を図ります。

### ⑤ 災害に備えた自助・共助の体制づくり

ひとりひとりが防災意識を高めるとともに、地域で助け合う体制を構築するため、各種ハザードマップや避難場所・避難所等の周知、マイタイムラインの普及啓発を進めます。また、防災訓練・防災講和を引き続き実施することにより、地域防災力の向上を図ります。

1. グランドデザインの  
改定にあたって

2. 蒲田駅周辺地区の  
強み・弱み

3. 蒲田に求められる役割

4. まちの将来像

5. まちづくりの基本方針

6. まちづくりの取り組み  
(アクションプラン)

7. グランドデザインの  
実現に向けて

## 分野別方針10:【ユニバーサルデザイン】誰もが使いやすく人にやさしいまち

### ① 誰も迷わない分かりやすいサインの整備

障がい者や高齢者、来街者等のまちなかや駅における安心で円滑な移動を支えるため、多言語化され、ユニバーサルデザインに配慮した案内サインの充実を図ります。また、公共交通間の乗換え経路では、シームレスで分かりやすい誘導サインの充実を図ります。

### ② 誰もがすいすい移動できるバリアフリー化の推進

障がい者や高齢者、来街者等が安全で快適に活動できるよう、大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針やバリアフリー基本構想に基づき、道路・公共施設はもとより、公共交通機関や商業施設など民間建築物のバリアフリー化などを進めます。

### ③ 人々の多様性を認め受け入れるダイバーシティの推進

様々な人が互いを認めあい、共に交流し、支えあう地域づくりに向け、豊かな心を育む「心のバリアフリー」教育を進めていきます。

### ④ 先端技術を駆使した環境の整備

安全で質の高い生活・都市活動を実現するため、次世代通信インフラを始めとして、ICT等を活用したシームレスな公共交通、災害・観光対策、地域の見守りなど、多様な主体と連携し、先端技術を駆使した都市環境を目指します。

## 分野別方針11:【美化・景観】個性と魅力のあるまち

### ① みんなで綺麗なまちをつくる美化活動

地域住民・事業者が主体となって、美化活動を進め、清潔なまちを維持します。ごみの収集等については、行政と地元が協力して、実施していきます。

### ② 蒲田らしい固有の魅力を活かした景観の育成

蒲田らしい多様性に富んだまちなみを活かし、大田区景観計画等に基づき、活気やにぎわいを感じさせる景観形成を図ります。また、警察と連携し、違法看板等の撤去、所有者への指導を継続して実施します。

## 分野別方針12:【自然・環境】自然を感じ、環境にやさしいまち

### ① 地域とつくる緑あふれる都市環境の創出

人々が緑を感じ、快適に過ごすことができる環境を創出するため、地域住民・事業者と連携し、地域の花の輪を広げると共に、都市開発や建築行為に合わせて敷地内の緑化を促進します。

### ② 緑とにぎわいを感じる公園等の充実

人々が集い、憩う緑あふれる空間を形成するため、公園や広場をリニューアルする際には、緑豊かな憩いの場として魅力の向上を図ります。また、地域のふれあいパーク活動を通じて、緑あふれる、きれいな公園・環境づくりに資する活動を推進します。

### ③ まち全体で取り組む環境負荷の低減

地球環境にやさしいまちづくりを進めるため、商店街の街路灯のLED化などを進めるとともに、都市開発や建築行為に合わせ、省エネルギー設備の導入、再生可能エネルギーの導入など環境性能の高い建物を誘導します。また、複数の建物や街区間で面的にエネルギーを融通する取組を促進します。

### ④ 暑い日もまちなかで快適にすごせるための暑さ対策

樹木や緑地の維持・創出とともに、ヒートアイランド現象の緩和や快適な憩いの場の提供等に取り組むことで、良好な屋外環境の形成を図ります。

### ⑤ 潤いを創出する呑川の水質改善

呑川沿いを親水空間として活用するために、高濃度酸素水浄化施設の稼働や合流式下水道の改善など、東京都や流域自治体と連携し水質改善対策を推進します。

## 分野別方針13:【防犯】安全安心なまち

### ① 地域の力でつくる安全な環境の確保

安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するため、地域住民が主体となる見守り活動や、商店街・町会と警察や行政が連携しながら実施するパトロール活動を支援します。また、防犯カメラや防犯灯等の設置を促進します。

### ② 自転車マナーアップと放置自転車対策の推進

安全で快適な自転車利用環境や歩行環境を創出するために、自転車利用者に対してルールやマナーについてより理解を深めてもらえるよう啓発活動を実施します。また、行政、地元関係者がそれぞれの役割で連携しながら、放置自転車の撤去に引き続き取り組みます。

1. グランドデザインの  
改定にあたって

2. 蒲田駅周辺地区の  
強み・弱み

3. 蒲田に求められる役割

4. まちの将来像

5. まちづくりの基本方針

6. まちづくりの取り組み  
(アクションプラン)

7. グランドデザインの  
実現に向けて



## 第7章 グランドデザインの実現に向けて

---

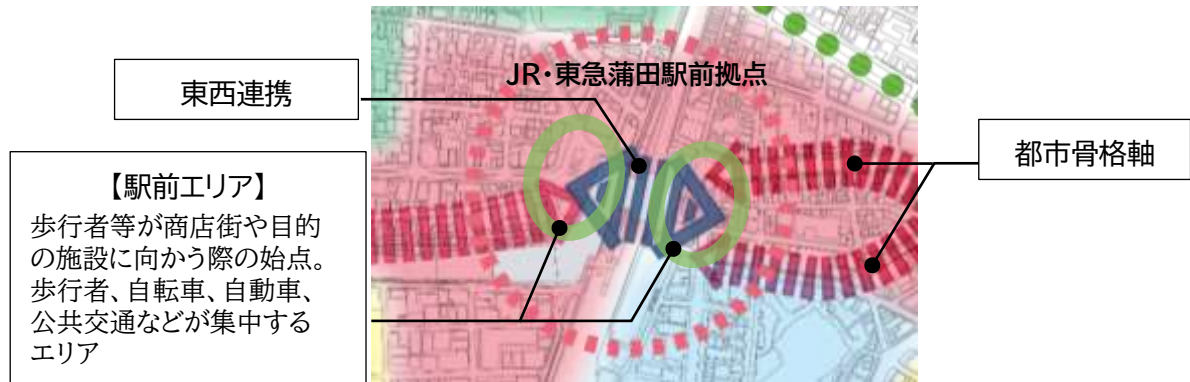
# TOWARD REALIZATION

## 7-1. JR・東急蒲田駅前拠点における整備の方向性について

JR・東急蒲田駅前拠点は、蒲田駅周辺地区全体のまちづくりを推進する上で核となる重要な場所であるため、この拠点の役割や課題を踏まえ、整備の方向性を示します。

### 大田区の「中心拠点」の形成に向けて、JR・東急駅前拠点に期待される役割

蒲田が東京圏における『枢要な地域の拠点』としての役割と、大田区における『中心拠点』としての役割を果たすために、2核1軸（2つの拠点と1つの都市軸）の拠点の一つである『JR・東急蒲田駅前拠点』の整備を進めることが重要です。



### JR・東急蒲田駅前拠点の課題

#### 東西のまちの連携

- 地上の線路や駅ホームにより、東西の市街地が分断
- 東西連絡通路は、クランク形状であり歩行者交通量も多いため、歩行者の快適性や安全性に課題
- 東西連絡通路は、深夜に閉鎖されるため、自由な往来に課題
- 駅北側地下通路は、老朽化が進みバリアフリー未対応で道幅が狭いため、安全面や防犯面に課題

#### 中心拠点に相応しい交通結節点の形成

- 駅前広場は、多くの歩行者・バス・タクシーがスムーズに移動や滞留をするために必要な面積が不足
- 駅や駅ビルは、複数の鉄道路線（JR線、東急線、新空港線（将来））の乗換え利便性の確保が必要
- バス乗降場は、鉄道との乗換え利便性の向上が必要

#### 安全・快適で賑わいのある歩行者空間の創出

- 駅前広場において、人々が集い・交流し・まちの活力を生み出す公共空間が不足
- 自転車駐車が不足しているため、放置自転車が多く、歩行者や緊急車両の通行を阻害。暫定自転車駐車で対応しているが、歩行者環境や景観の悪化などが課題
- 駅周辺街路は、狭い歩道を歩行者・バス乗客・自転車が利用しているため、快適性や安全性に課題

#### 災害時におけるまちの安全性の確保

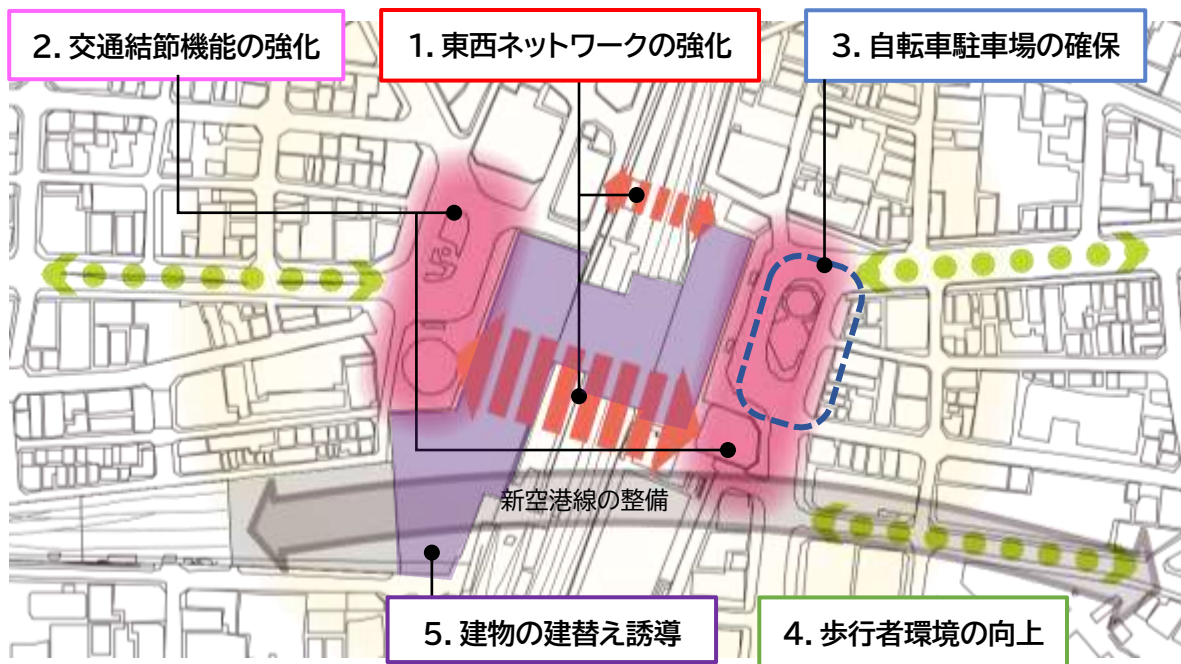
- 駅ビルは、耐震工事がされたが、躯体の老朽化が進んでいるため、将来の機能更新や建替えが必要
- 駅周辺の建物の多くが、老朽化が進んでいるため、将来の機能更新や建替えが必要
- 駅前広場には、災害時の帰宅困難者が一時滞在できるスペースが不足



## JR・東急蒲田駅前拠点における整備の方向性

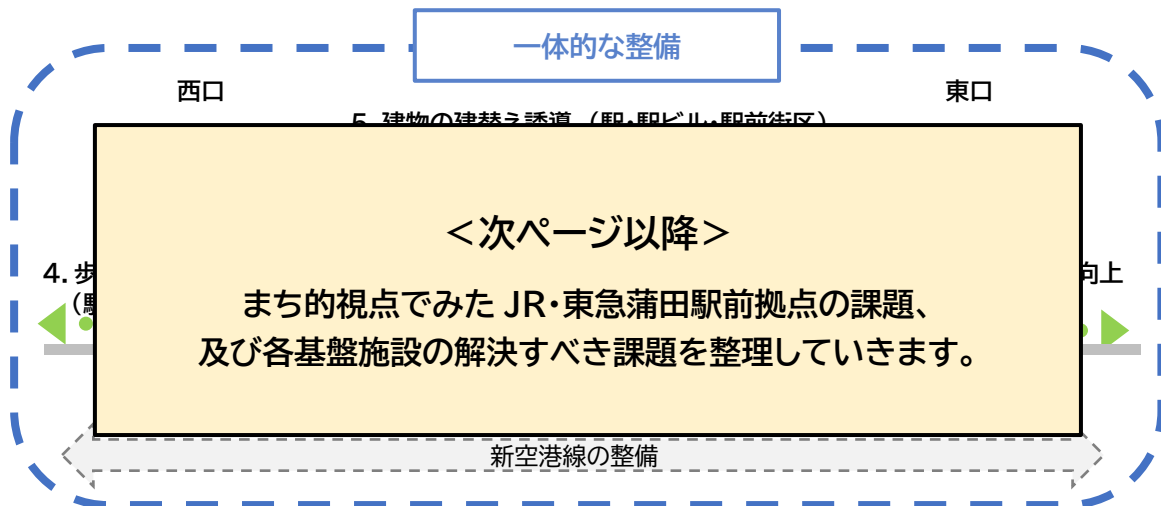
### 基盤施設の機能強化等の必要性

1. 東西ネットワークの強化（東西連絡通路など）
2. 交通結節機能の強化（駅前広場など）
3. 自転車駐車場の確保（自転車駐車場）
4. 歩行者環境の向上（駅周辺街路など）
5. 建物の建替え誘導（駅・駅ビル・駅前街区など）



### 一体的な整備の必要性

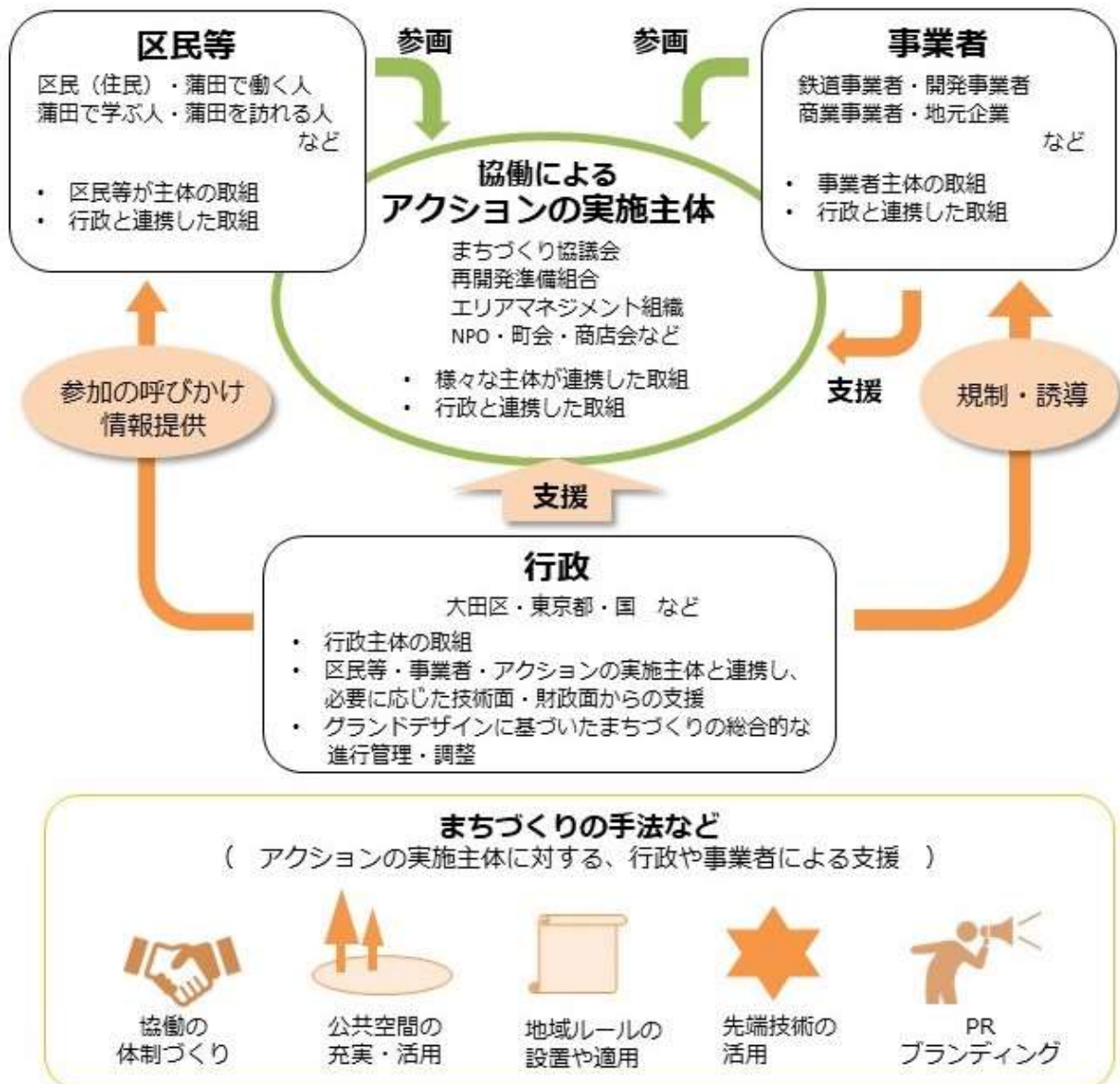
基盤施設の機能強化等を進めるとともに、駅前の活力やにぎわいをまちへと面的に広げ、蒲田駅周辺地区の持続的な発展へと繋げていくためには、**基盤施設の整備と、公共施設の再編、駅舎・駅ビル・駅前街区の建替え誘導等を一体的に進めていくことが必要です**



## 7-2. 協働によるまちづくりの推進


### ① アクションの担い手を中心としたまちづくりの考え方

- ・ グランドデザインに掲げたアクションを推進していくためには、区民等（大田区民、蒲田で働く人、学ぶ人、訪れる人など）や事業者が、それぞれ個別に取組を行うだけでなく、積極的にアクションの実施主体に参画し、協働することによる主体的なまちづくりが重要です。
- ・ 行政（大田区・都・国など）や事業者は、様々な手法を活用しながら、アクションの担い手を支援していくことで、協働型によるまちづくりを推進します。







## ② 活用を検討する手法など

アクションの実施主体への区民等の参画促進や、アクションの実施主体を支援するために考えられる手法を例示します。今後は、これら手法の活用可能性の検討や、手法の具体化、および手法の適用における役割分担の検討などを行います。

手法の分類	手法の例
協働の 体制 づくり  	<p>【目的】地域の主体が連携した計画・整備の推進 ↓ 【手法】地域組織（町会・商店会・協議会等）の組織組成や活動の支援</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30%; height: 150px; text-align: center; vertical-align: middle;">説明文</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30%; height: 150px; background-color: #d9e1f2; text-align: center; vertical-align: middle;">イメージ</div> </div>
	<p>【目的】産官学が連携したまちづくりの計画～整備～管理運営の推進 ↓ 【手法】まちづくりやエリアマネジメントを担う組織の組成や活動の支援</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30%; height: 150px; text-align: center; vertical-align: middle;">説明文</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30%; height: 150px; background-color: #d9e1f2; text-align: center; vertical-align: middle;">イメージ</div> </div>

手法の分類	手法の例
<p>公共空間 の 充実・活用</p> 	<p>【目的】 道路の歩行者空間の拡充 ↓ 【手法】 歩行者利便増進道路制度（ほこみち制度）</p> <div data-bbox="379 327 826 595" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>説明文</p> </div> 
<p>公共空間 の 充実・活用</p> 	<p>【目的】 再開発等に合わせた公共空間の拡充 ↓ 【手法】 公共施設の再編・大街区化など</p> <div data-bbox="371 826 810 1117" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>説明文</p> </div> 
<p>地域ルール の 設置や適用</p> 	<p>【目的】 ウォークラブルな商店街づくり ↓ 【手法】 駐車場地域ルールによる駐車場の集約化・隔地設置 滞在快適性等区域の設定 など</p> <div data-bbox="384 1339 823 1608" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>説明文</p> </div> 

	<p>【目的】 共同化による都市機能強化の促進 ↓ 【手法】 街並み誘導型地区計画 など</p> <div data-bbox="379 241 826 510" style="border: 1px solid black; width: 280px; height: 120px; margin: 10px auto; text-align: center;"> <p>説明文</p> </div> <div data-bbox="885 219 1396 504" style="text-align: right;"> </div> <p style="text-align: right;">参考：福岡都心部の街並み誘導型計画（右図）</p>
--	--

手法の分類	手法の例
<p>先端技術 の 活用</p> 	<p>【目的】 移動の利便性や回遊性の向上 ↓ 【手法】 新たなモビリティサービスの導入の支援（社会実験・規制緩和など）</p> <div data-bbox="379 810 826 1079" style="border: 1px solid black; width: 280px; height: 120px; margin: 10px auto; text-align: center;"> <p>説明文</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>電動キックボード (渋谷区など)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自動運転モビリティ (中央区など)</p> </div> </div> <p>【目的】 密や混雑を回避する行動への誘導 ↓ 【手法】 ICT を活用して公共空間（駅・駅前広場・避難所等）の混雑状況を伝達 など</p> <div data-bbox="379 1310 826 1579" style="border: 1px solid black; width: 280px; height: 120px; margin: 10px auto; text-align: center;"> <p>説明文</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>駅視ビジョン (東急電鉄)</p> </div>

<p>PR ブランディング</p> 	<p>【目的】まちづくりの進捗状況の共有 ↓ 【手法】区報やウェブサイト等において、将来像やアクションの進捗状況を「具体的に分かりやすく」伝達 など</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 100px; margin-right: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>説明文</p> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">元きり首町空陸</div> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">都心再生素活圏地域拡大検討</div> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">さんざんアモーレ広域・サンキタ通りの再整備</div> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">本庁舎2号館再整備</div> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">都心再生素活圏の再整備</div> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">都心エリアの再整備計画に関する検討会議</div> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">環状2号線 再生素活圏空陸の整備</div> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">三宮クロススクエア</div> </div> <div style="margin-left: 20px;">  <p>都心・三宮の再整備ウェブサイト</p> </div> </div>
	<p>【目的】アクションに参加したくなる人や事業者を増やす ↓ 【手法】蒲田の魅力づくり・活力づくりに活躍する「アクションの担い手」に焦点を当てた情報発信の実施、アクションの実施主体の間合せ先紹介など</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 100px; margin-right: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>説明文</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>参考事例：渋谷のウェブマガジン</p> </div> </div>